

水子より帰り来たる

MIZUKO YORI KAERI KITARU ・ COVER COMMISSION

現代日本の古い団地を舞台にした、心理ホラーのTRPGシナリオです。
表紙は、建物（団地）そのものを主役とし、人物や怪物を描かずに、
静かで不穏な空気を表現していただきたいと考えています。

GENRE ホラー／ヒューマンドラマ（心理ホラー）

STAGE 現代日本・都市近郊の古い団地

SERIES 全3部作の第1章

RATING R-15

DELIVERY PNG／タイトルなし差分あり

世界観・空気感

直接的な流血表現は控えめで、静かで不穏な雰囲気重視します。
ホラー小説や映画の装丁のような、落ち着いた上質な仕上がりを目指します。

時代 現代。ただし建物は昭和の面影を残す	舞台 車道を挟み一棟だけ離れて建つ、古い団地	雰囲気 静かで、閉塞感のある空気。ありふれた日常のなかに、かすかな違和感が漂う
恐怖演出 音・気配・見えないものへの想像で不安を高める。 流血表現は最小限	テーマ 喪失・母性・執着。人の感情を核に据えた物語	色味 彩度を抑えた寒色が基調。差し色に沈んだ暗赤をわずかに

カラーパレット

シリーズ共通のベースを保ち、巻ごとにアクセントだけ変える運用を想定。
（色をクリックでHEXコピー）



運用：画面の約8割を寒色＋褪せた中間色で構成し、**暗赤は面積を絞って“点”で効かせる**。派手さより沈んだ調和を優先。

構図ラフ

構図の目安です。建物と余白の関係、文字を載せる面のイメージ共有を目的としています。実際の描き込みはお任せします。



- 片側（左または下）を大きく空け、**後からキャッチコピーを載せる余白**を確保
- サムネイル表示でも「団地×不穏な空気」が伝わる、引きの効いた画
- 表紙と同じ配色・質感で、**並べて同じ作品の別カット**に見えること（表紙のトリミング＋余白でも可）

- 主役は**団地そのもの**。夕暮れ～夜、静かに見上げる／見つめる構図
- 灯りは一点だけ（冷たい光）。人物・怪異は**描かない**
- 上部または下部3分の1にタイトル帯。余白を埋めすぎない
- タイトルなし差分も納品

描くもの／描かないもの

判断に迷われた場合は、「建物と空気だけで恐怖を表現し、人物と怪異は描かない」を基準にしてください。

描いてほしい DO

- + 昭和の面影を残す団地の外観（または薄暗い廊下・内部）
- + 冷たい光が一点だけ灯る、孤独で不穏な光源
- + 彩度を抑えた、装丁のように整った画面
- + 「内側に何かがいる」気配（姿は見せない）
- + 並べてシリーズと分かる共通フレーム設計

描かないでほしい NG ・ ネタバレ

- × 怪異・怪物など、非人間的な存在の姿
- × 特定の人物・NPCの顔や姿（登場人物の特定）
- × 赤ん坊・胎児・儀式など、真相を直接示すモチーフ
- × 大量の流血・スプラッター表現
- × 結末やオチを先読みさせるビジュアル全般

参考キーワード

世界観・トーンの手がかり（日本語／英語）。

心理的恐怖 psychological horror

ジャパニーズホラー japanese horror

昭和の団地 Showa-era danchi

古い集合住宅 old apartment complex

静かな恐怖 silent fear

忍び寄る不安 quiet dread

不気味 eerie

違和感 unsettling

不吉・前兆 ominous / foreboding

見慣れた違和感 liminal space

彩度を抑えた desaturated

くすんだ色調 muted colors

冷たい光 cold light

蛍光灯の光 fluorescent glow

薄暗い廊下 dim hallway

剥がれかけた壁 peeling walls

コンクリート concrete

夕暮れ・薄闇 dusk / twilight

もの悲しさ melancholy

喪失・悲哀 loss / grief

郷愁と不安 nostalgic unease

重苦しい空気 oppressive atmosphere

かすかな異常 subtle wrongness

静寂 stillness

気配 unseen presence

ホラー小説の装丁 horror novel cover

装丁デザイン book cover design

余白 negative space

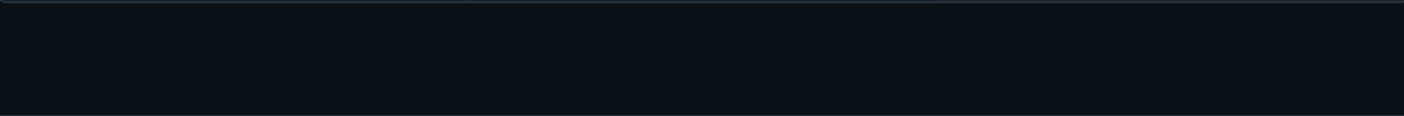
映画的 cinematic

重厚・高級感 refined / premium

添付すると良い素材

舞台の空気を伝えるための参考です（そのまま再現は不要）。推奨は団地外観
昼・夜＋古い4階建て＋廊下の4～5枚。

団地外観（昼） 舞台の建物・時代感の共有	団地（夜） 夜の不穏な空気・表紙トーン	古い4階建て団地 “離れの一棟”の佇まい
団地の廊下（薄暗い） 内部の閉塞感・視線の抜け	部屋の内観（廃・生活感） 室内の質感・寂れ	血痕あり背景 ※取扱注意 トーンの温度感の参考のみ。 表紙に流血は不要



デザイン方針：全3部作／表紙はシリーズ感を最優先（共通フレーム＋巻ごとの差し色）。高級感・重厚感のある装丁の佇まい。派手なスプラッターではなく、不気味さ・静かな恐怖を重視。PNG納品／タイトルなし差分／X告知はキャッチコピー用の余白を確保。

水崎案内所 ・ COVER BRIEF V1